

広報たかお 12月号

発行日 2025（令和7）年12月1日 世帯数 131世帯 人口 241人
発行 高尾住民自治協議会 (10月末現在)

できごと

米ー1グランプリ

銅賞入賞！

福山康宣さん（中出）

おいしいお米の日本一を決める全国規模の米コンテスト『米ー1グランプリ in らんこし』において総出品数 415品の中から、中出の福山康宣さんが決勝トーナメントに進まれ、見事『銅賞』に入賞されました。

14回目を迎える同コンテストでは、決勝大会が北海道とあって、“ゆめぴりか”や“ななつぼし”など北海道を代表するおいしい品種や“いのちの壱”（数々のコンテストでグランプリを獲得している最高級ブランド米の一つである“龍の瞳”的品種）などの出品がひしめくハイレベルの大会となり、コシヒカリでは唯一福山さんが決勝大会へ進まれました。



福山さん（中央）と応援団で参加の中西保朝さん（左）、花岡穰一さん（右）。中西さんは、第11回大会で福山さんと同じ銅賞を受賞されました。

大学教授を委員長とし、料理研究家、米穀販売会社、パナソニック炊飯部のほか多彩な審査員による厳正な審査の様子



今回、福山さんの応援と伊賀米のPRを兼ねて同行した花岡さんは大会を振り返って、「温暖化が進む中で、近年北海道がおいしい米の主たる産地となってきている。そのような状況下での福山さんのコシヒカリでの入賞は伊賀米のブランド力向上に寄与することにつながったのではないか。ただ、このまま気候変動が続くと、伊賀地域においてもコシヒカリの品質だけでなく生産にも影響が出てくるのは必至であり、伊賀地域だけではなく三重県として高温障害に強い品種の改良など取り組まなければならなくなるのでは。」と話されていました。また、決勝へ残られた北海道や他県のおいしいお米づくりに対する熱量の大きさにも感心されたようです。

『青山ふるさと美術展覧会』に高尾からたくさん



出展されました



●11月15~17日、青山ホールで59回目となる「青山ふるさと美術展覧会」があり、多くの方の力作が並びました。中でも高尾からの出展が多く、ひときわ来場された人の目を引いていました。

すべて紹介しきれないのが残念です。

消防団による火災予防啓発パレード、防火水槽事前清掃等が行われました

●11月9日から15日の「秋の火災予防運動」で消防団による防火啓発パレード、防火水槽事前清掃、消防ポンプ点検、巡回が行われました。雨天の中で作業いただきありがとうございました。



★暖房器具の火災に注意！

●秋をとび越えたように冬の寒さがやってきました。早速暖房器具のお世話になっているところですが、ストーブやファンヒーターが原因の住宅火災が多く発生する季節です。

11月に入り伊賀市と名張市で住宅火災が発生し2名の方が亡くなっています。



ストーブやファンヒーターの周りに燃えやすいものを置かないという意識を強く持ちましょう。

12月 行事予定

6日（土）	NPO法人「岳への道」所有山林境界確認
〃	いきいきサロン「年末サロン」 13:30~
9日（火）	岳の里「ちょこっと喫茶」 13:30~
10日（水）	配食サービス
13日（土）	青山人権のつどい 13:30~青山福祉センター
20日（土）	人権地区別懇談会 18:00~
〃	自治協運営委員会（定例会）人権地区懇終了後
23日（火）	介護予防健康体操 13:30~

12月28日（日）~30日（火） 消防団年末警戒

※12月27日（土）~1月4日（日）の間
市民センターは休みとなります。